



JP11049231

Biblio

Page



HANGING CONTAINER

Patent Number: JP11049231
Publication date: 1999-02-23
Inventor(s): IWAMOTO HISAO; NISHIHATA FUMITAKA
Applicant(s):: KANEBO LTD
Requested Patent: ☐ JP11049231
Application Number: JP19970224296 19970805
Priority Number(s):
IPC Classification: B65D75/36 ; B65D75/56
EC Classification:
Equivalents:

Abstract

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a hanging container capable of being obtained at low cost, excellent in convenience at times of use, transport and keeping, and also excellent in the appeal properties of a commodity.

SOLUTION: This hanging container consists of a recessed part 3 housing an article 2, a housing member 1 equipped with the flange part 4 formed to the periphery of the recessed part 3 and the sheet material 11 superposed on the housing member 1 to cover the recessed part 3. The sheet material 11 has a bendable fold line 12 and the self-adhesive part 13 bonded to the flange part 4 of the housing member 1 in a releasable manner is provided to one side 11a partitioned by the fold line 12 and a hanging hole 16 is provided to the other side 11b thereof.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-49231

(43)公開日 平成11年(1999) 2月23日

(51)IntCl.⁶

B 6 5 D 75/36
75/56

識別記号

F I

B 6 5 D 75/36
75/56

審査請求 未請求 請求項の数1 F D (全 4 頁)

(21)出願番号

特願平9-224296

(22)出願日

平成9年(1997) 8月5日

(71)出願人 000000952

鐘紡株式会社

東京都墨田区墨田五丁目17番4号

(72)発明者 岩本 久雄

神奈川県小田原市寿町5丁目3番28号 鐘
紡株式会社化粧品研究所内

(72)発明者 西畑 文貴

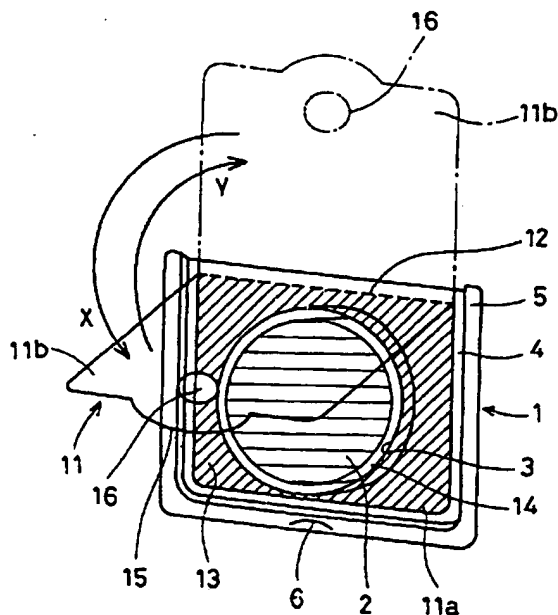
神奈川県小田原市寿町5丁目3番28号 鐘
紡株式会社化粧品研究所内

(54)【発明の名称】 吊り下げ容器

(57)【要約】

【課題】低コストで得ることができ、使用時、輸送時及び保管時の利便性に優れ、且つ商品のアピール性に優れた吊り下げ容器を提供する。

【解決手段】物品(2)を収納する凹部(3)及びこの凹部(3)の周囲に形成されたフランジ部(4)を備える収納体(1)と、この収納体(1)に重ねられて上記凹部(3)を蓋するシート体(11)とからなる。シート体(11)は、折り曲げ可能な折り線(12)を有するとともに、折り線(12)で区切られた一方側(11a)に上記収納体(1)のフランジ部(4)に剥離可能に貼着される粘着部(13)を備え、且つその他方側(11b)には吊り下げ孔(16)を備えている。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 物品(2)を収納する凹部(3)及びこの凹部(3)の周囲に形成されたフランジ部(4)を備える収納体(1)と、この収納体(1)に重ねられて上記凹部(3)を蓋するシート体(11)とからなり、このシート体(11)が、折り曲げ可能な折り線(12)を有するとともに、折り線(12)で区切られた一方側(11a)に上記収納体(1)のフランジ部(4)に剥離可能に貼着される粘着部(13)を備え、且つその他方側(11b)には吊り下げ孔(16)を備えていることを特徴とする吊り下げ容器。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】本発明は、化粧品等の商品を収納した状態で吊り下げ販売に供することができる吊り下げ容器に関するものである。

【0002】

【従来の技術】最近、化粧品等の商品を店頭で陳列販売する方式として、壁や陳列棚に固定された吊り下げ棒やフック等の係止部材に商品を吊り下げ陳列する方式が多く採用されている。そして、従来この吊り下げ陳列方式においては、化粧品等の商品を収納した紙製の一個箱にタブ等を設けて吊り下げ孔を穿設したもの、あるいは紙製の一個箱に別部品であるプラスチック製の係止部材を取り付けたものが汎用されている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記従来の吊り下げ陳列方式においては、通常直方体形状の定型的な紙製の一個箱が使用されており、収納されている化粧品、化粧品小物等の物品のイメージを一個箱の外部から認識することができないため、商品を充分にアピールすることができないという問題があった。また、一個箱にプラスチック製の係止部材を取り付けるものは、部品点数が増えることから材料コストや加工コストが高くなるという欠点を有していた。さらに、一個箱からタブや係止部材を突出させると、輸送時や保管時にこれらが邪魔になって効率的に輸送や保管をすることができないという問題が発生することとなった。

【0004】本発明は、上記従来技術の問題に鑑みなされたものであって、その目的は、低コストで得ることができ、使用時のみならず輸送時、保管時の利便性にも優れ、且つ商品のアピール性に優れた吊り下げ容器を提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記の目的を達成するために、本発明の吊り下げ容器は次のような構成をとる。すなわち、物品を収納する凹部及びこの凹部の周囲に形成されたフランジ部を備える収納体と、この収納体に重ねられて上記凹部を蓋するシート体とからなり、このシート体が、折り曲げ可能な折り線を有するとともに、折

り線で区切られた一方側に上記収納体のフランジ部に剥離可能に貼着される粘着部を備え、且つその他方側には吊り下げ孔を備えていることを特徴とするものである。

【0006】

【発明の実施の形態】以下、本発明の吊り下げ容器の実施の形態を、図面に基づき説明する。

【0007】図1は、本発明の吊り下げ容器の一実施形態を示す斜視図である。同図に示すように、この吊り下げ容器は、透明ポリエステル製シート(厚み0.35mm)からなる収納体(1)と、この収納体(1)の片面側に取り付けられた透明ポリエステル製のシート体(厚み75 μ m)(11)とから構成されている。

【0008】上記収納体(1)は、物品(2)(この例では化粧料を塗布するために用いられる円盤状の化粧スポンジ)を収納する凹部(3)と、この凹部(3)を取り囲むように周囲に設けられたフランジ部(4)と、フランジ部(4)の左右両端縁及び下端縁に沿って立設された端縁部(5)とを加熱真空成形により形成してなるものである。そして、上記端縁部(5)のうちの下端縁に設けられた端縁部には、半円弧状の切欠部(6)が設けられている。

【0009】また、上記シート体(11)は、図2に示すように略長方形に形成され、その長手方向略中央部を幅方向に横切るように点線状に穿設されたミシン目による折り曲げ可能な折り線(12)を備えている。そして、この折り線(12)で区切られた一方側(同図では下方側)(11a)の片面には、このシート体(11)を図1に示す如く上記収納体(1)上に重ねた際に収納体(1)のフランジ部(4)に対応する位置に粘着部(同図中、斜線で示す)(13)が形成されている。この粘着部(13)は、当該部位に溶剤タイプのアクリル系接着剤を塗布した後、接着剤中の溶剤を気散することにより形成される強粘タイプの粘着部となっている。しかし、このシート体(11)を上記収納体(1)上に重ねた際に収納体(1)の凹部(3)に対応する部位は非粘着部(14)となっている。さらに、シート体(11)において上記折り線(12)で区切られた他方側(同図では上方側)(11b)には、その上端縁中央部に円弧状の凸部(15)が設けられ、この凸部(15)の下方には円形の吊り下げ孔(16)が穿設されている。

【0010】しかし、上記収納体(1)の凹部(3)内に物品(2)を収納し、その上をシート体(11)の一方側(11a)で覆うようにして上記粘着部(13)を収納体(11)のフランジ部(4)に貼着することにより、物品(2)が収納保持された吊り下げ容器を容易に得ることができる。すなわち、シート体(11)の一方側(11a)が物品(2)の収納された収納体(1)の凹部(3)を蓋するとともに、そのシート体(11)の他方側(11b)が収納体(1)よりも上方に延

びた状態となり、吊り下げ孔(16)による吊り下げ陳列を可能とするのである。

【0011】そして、この吊り下げ容器を店頭まで輸送したり保管したりする際には、図1中に矢印Xで示すようにシート体(11)に設けられた折り線(12)によってシート体(11)の他方側(11b)を収納体

(1)上の一方側(11a)に向けて折り曲げ、図3に示すように両者を重ねた状態とすることにより、小型化して効率的に積み重ね輸送等を行うことが可能となる。このとき、シート体(11)の他方側(11b)の上端に設けられた凸部(15)を収納体(1)の下端縁の端縁部(5)に設けられた切欠部(6)に挟み込むことにより、図3に示した状態を安定保持することができる。

【0012】しかして、この吊り下げ容器を店頭で吊り下げ陳列する場合には、上記収納体(1)の切欠部

(6)からシート体(11)の凸部(15)を解放し、図1中に矢印Yで示すようにシート体(11)の他方側(11b)を同図中一点鎖線で示す位置まで起立させることにより、この他方側(11b)に設けられた吊り下げ孔(16)を用いて壁や陳列棚の吊り下げ棒やフック等に吊り下げることができるようになる。そして、これを購入した消費者は、上記シート体(11)の粘着部(13)を収納体(1)のフランジ部(4)から剥離することにより、収納体(1)の凹部(3)に収納されている物品(2)を取り出して使用することができるのである。

【0013】本発明の吊り下げ容器は、例えば、化粧品を充填したコンパクト容器、口紅容器等の化粧料容器、化粧スポンジ、化粧筆等の化粧小物等、様々な物品を収納して吊り下げ陳列する容器として広く用いることができるものである。

【0014】本発明の吊り下げ容器を構成する収納体を製造するにあたっては、例えば、ポリエステル、ポリ塩化ビニル、ポリオレフィン等の熱可塑性合成樹脂シートを加熱真空成形や加熱圧空成形等によりシート成形することによって、収納する物品の形状に合わせた所定形状の凹部と、この凹部の周囲に延設されるフランジ部とを一体に形成することが可能となる。また、この収納体は、上記のようなシート成形品とすることがコスト面で好ましいが、合成樹脂を用いた薄肉射出成形等によっても製造することができるものである。

【0015】なお、本発明の実施形態の一例として挙げた上記吊り下げ容器は、収納体(1)のフランジ部

(4)の左右両端縁及び下端縁に沿って立設された端縁部(5)を備えているが、この端縁部(5)は、吊り下げ容器の形状等によっては特に上記の例のように設ける必要のないものである。しかしながら、端縁部(5)のような突起部を収納体の端縁に設けることにより、その内側のフランジ部に対してシート体の粘着部を位置決め貼着することが容易になるため、少なくともフランジ部

の左右両端縁に端縁部のような突起部を設けることが好ましい。さらに、端縁部を形成することにより、シート体の厚みが厚くなった場合であっても該シート体が収納体のフランジ部の上部で極端に突出することを防止することができ、複数の吊り下げ容器を打箱等に重ねて収納することが容易になる。

【0016】また、本発明の吊り下げ容器を構成するシート体は、例えば、ポリエステル、ポリ塩化ビニル、ポリオレフィン等の合成樹脂シート、アルミニウム等の金属シート、紙製シート、またはこれらの積層シート等から得ることができ、その一部には、商品名、商品の説明文、価格、商品の販売会社名等を直接印刷することもできるものである。そして、このシート体に設ける折り線は、シート体を容易に折り曲げることができるように、点線状のミシン目、またはV字状、U字状等の凹凸状の線で形成したヒンジ部からなる折り線とすることが好ましい。

【0017】そして、上記折り線で区切られたシート体の一方側に形成される粘着部は、収納体のフランジ部と剥離可能に貼着されるように、適宜選択された接着剤を塗布することにより形成することができる。その接着剤としては、例えば、強粘または弱粘タイプの感圧接着剤、ホットメルトタイプの接着剤等が挙げられる。

【0018】また、上記折り線で区切られたシート体の他方側に設ける吊り下げ孔は、シート体に折り線を設ける際に同時に円形、楕円形、矩形等の各種形状に穿設することのできるものである。

【0019】なお、本発明の実施形態の一例として挙げた上記吊り下げ容器においては、シート体(11)を折り線(12)によって折り曲げた図3に示す状態を安定保持するために、収納体(1)の下端に切欠部(6)を設けるとともに、この切欠部(6)に挟み込まれる凸部(15)をシート体(11)の上端に設けているが、シート体の材質等によって折り曲げ状態が安定保持される場合にはこのような保持構造を特に設ける必要はない。また、上記の例に挙げた構造に代えて、互いに嵌合可能な凸部と凹部とを収納体とシート体との適宜位置にそれぞれ設けるようにしてもよい。

【0020】本発明の吊り下げ容器は、収納体の凹部の形状を収納する物品に合わせた形状とし、この凹部の形状が凸部として外部に現れるようにすることにより、これを吊り下げ陳列した際に収納物品の形状イメージを外部から認識することのできるものである。また特に、収納体とシート体との少なくともいずれか一方を透明な材質により形成することにより、収納されている物品を外部から見るできるようになり、物品の印象をより強く消費者に与えることが可能となる。

【0021】

【発明の効果】以上述べた通り、本発明の吊り下げ容器は、低コストで得ることができ、使用時、輸送時及び保

管時の利便性に優れ、且つ商品のアピール性に優れた汎用性の高い吊り下げ容器である。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の吊り下げ容器の実施の形態の一例を示す斜視図である。

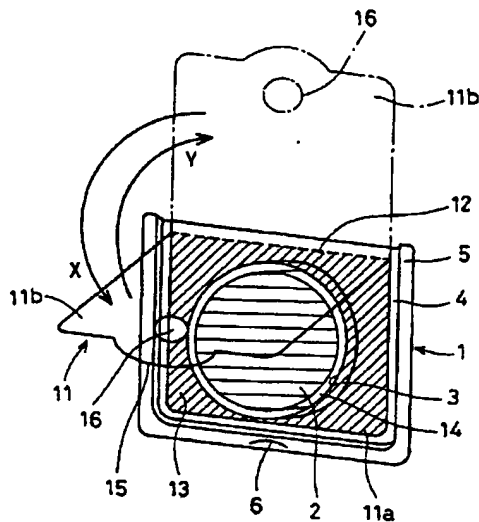
【図2】図1に示した吊り下げ容器におけるシート体を示す平面図である。

【図3】図1に示した吊り下げ容器の使用状態を説明する横方向の断面図である。

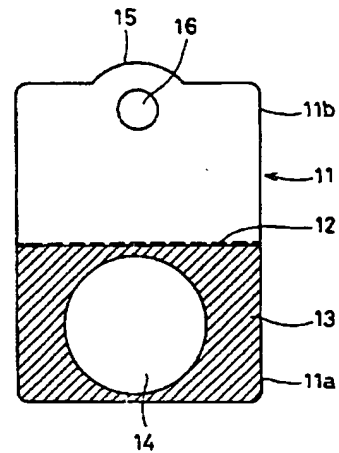
【符号の説明】

- 1 収納体
- 2 物品
- 3 凹部
- 4 フランジ部
- 11 シート体
- 12 折り線
- 13 粘着部
- 16 吊り下げ孔

【図1】



【図2】



【図3】

